



佐青中新聞

2019 - 04 号

発行所

佐賀 UBA 事務局

UBA38を開催！



去る2月8日、佐賀市「ロイヤルチエスター佐賀」に於いて、組合青年部による異業種マッチング会が開催された。20組合青年部から42名が参加し、7つの班に分かれて、90分という限られた時間の中、互いの業界の紹介や業界の持つ課題を出し合い、解決策などを探りながらマッチングによる事業計画を検討し、発表までを行った。初めは苦戦していたようだったが、思わぬマッチングで面白い事業計画も多くあり、他の班の事業計画を、参加者は真剣に聞いていた。その後、参加者の投票により、『陶石から出る産業廃棄物を利用した防草シート』（陶土組合青年部・漬物組合青年部・青連会が、最優秀事業計画に選ばれ、懇親会にてフルーツの盛り合わせといちごさん、平成31年度の同事業の実施優先権が贈呈された。参加者からも「面白かった」といった声が多く、今後も続けていきたい事業となった。

佐賀県 友好青年5団体 会員交流会開催で サガンGOAL！



3月17日、駅前不動産スタジアム(旧ベストアメニティスタジアム)に於いて、佐賀県友好青年5団体会員交流会が開催された。UBA の他、IMPULSE、YEG、JC、JA が所属しており、総勢約80名で、地元佐賀のプロサッカーチーム「サガン鳥栖」の応援を通じて、会員間の交流を行った。

リーグが開幕して4戦目のジュビロ磐田戦、終了間際のサガン鳥栖クエンカ選手のゴールが決定打となり、初の白星で、参加した会員は皆満足そうであった。最後に参加者全員で記念撮影をし、今後のサガン鳥栖の活躍に期待を込めた。砂岩魂!!

組合青年部が連携して新商品を開発

平成30年度から新商品・新サービスの開発や販路開拓に係る補助金が予算化され、その補助金を用いて佐賀県農業青年会と有田焼卸団地青年部会が連携して新商品を開発した。新商品は有田の有名な観光スポーツトンバイ堀をイメージした「トンバイ羊羹」と命名、今度の有田陶器市より本格的に販売をスタートするようだ。組合青年部間の連携による新商品の開発は初めての事例であり、平成31年度もこのような連携による取り組みに補助金を使ってほしいとUBA事務局T氏は語る。補助金の詳細は佐賀県中小企業青年中央会事務局まで。

佐賀県中小企業青年中央会 (佐賀UBA)



会長 原田 守 (佐賀県環境整備事業 (協) 青年部長、(株)エムズクリーンサービス代表取締役)

会員数 38名

佐賀県中小企業青年中央会(佐賀UBA)は、県内経済の次代を担う中小企業組合の青年経営者、若手後継者等の育成を主な目的として昭和51年に結成されました。現在、単なる後継者育成事業に留まらずに、互いに交流を深め意見を交換しながら、業種の垣根を超えたビジネスの創出、ビジネス・マッチングによる新しい経済活動の創出を目指し活動しています。本会の趣旨に賛同していただける未加入の組合青年部がございましたら、是非加入をご検討ください!!

お問い合わせは事務局 0952-23-4598 (中央会内) まで。